



会社概要

社名 NSウエスト株式会社

設立年月日 1982年6月1日

資本金 3億5千万

所在地



本社・庄原工場
〒727-0004
広島県庄原市新庄町366-2
TEL 0824(72)2033
FAX 0824(75)0020



三次工場
〒728-0017
広島県三次市南畑敷町300-43
TEL 0824(69)0831
FAX 0824(69)0833



営業・開発センター
〒730-0037
広島県広島市中区中町6-13
広島Kビル3F
TEL 082(207)3707
FAX 082(207)3710

役員



代表取締役社長
香本 益行
Masuyuki Komoto



常務取締役
寄江 真一
Shinichi Yorie



取締役
伊藤 一志
Kazushi Ito



取締役
積賀 輝嘉
Teruyoshi Tsumuga

取締役(非常勤)
佐藤 浩一 Koichi Sato
(日本精機株式会社 代表取締役社長)

取締役(非常勤)
富永 修 Osamu Tominaga
(日本精機株式会社 上席執行役員)

監査役(非常勤)
鳥越 雅司 Masashi TORIGOE
(日本精機株式会社 シニアマネジャー)

生産品目 車載用メーターセット
車載用インジケータAssy

車載用ヘッドアップディスプレイ

主要取引先 マツダ株式会社

ダイハツ工業株式会社

お客様に感動と安心を提供し 従業員の幸せの実現と 地域社会に貢献すること

この理念を受け継いでいく上で、我が社がお客様に感動と安心をお届けするためには、まず従業員一人一人が
イキイキとし、遣り甲斐と情熱を持って仕事に取り組むことです。
従業員の皆様がイキイキと仕事ができこそ、従業員の幸せの実現と地域社会への貢献が出来ると考えています。

代表取締役社長 香本 益行

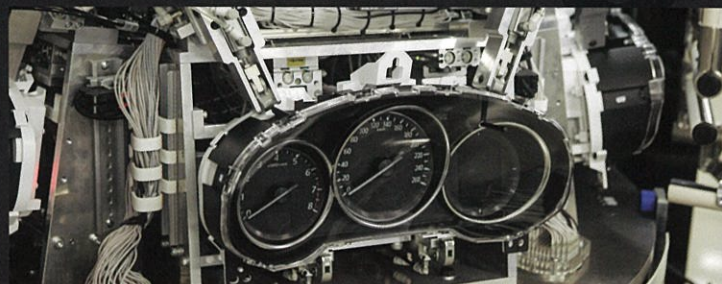


私
た
ち
の
想
い
を
確
か
な
カ
タ
チ
に
。

搭載されるクルマのコンセプトや市場ニーズを詳細に分析し、機能、デザイン、品質、コスト等あらゆる領域において高い目標を設定。それらの目標を確実にクリアすることで、常に強い競争力を持った「ベスト イン クラス」の製品を作り出しています。

PRODUCT

車載用メーターセット



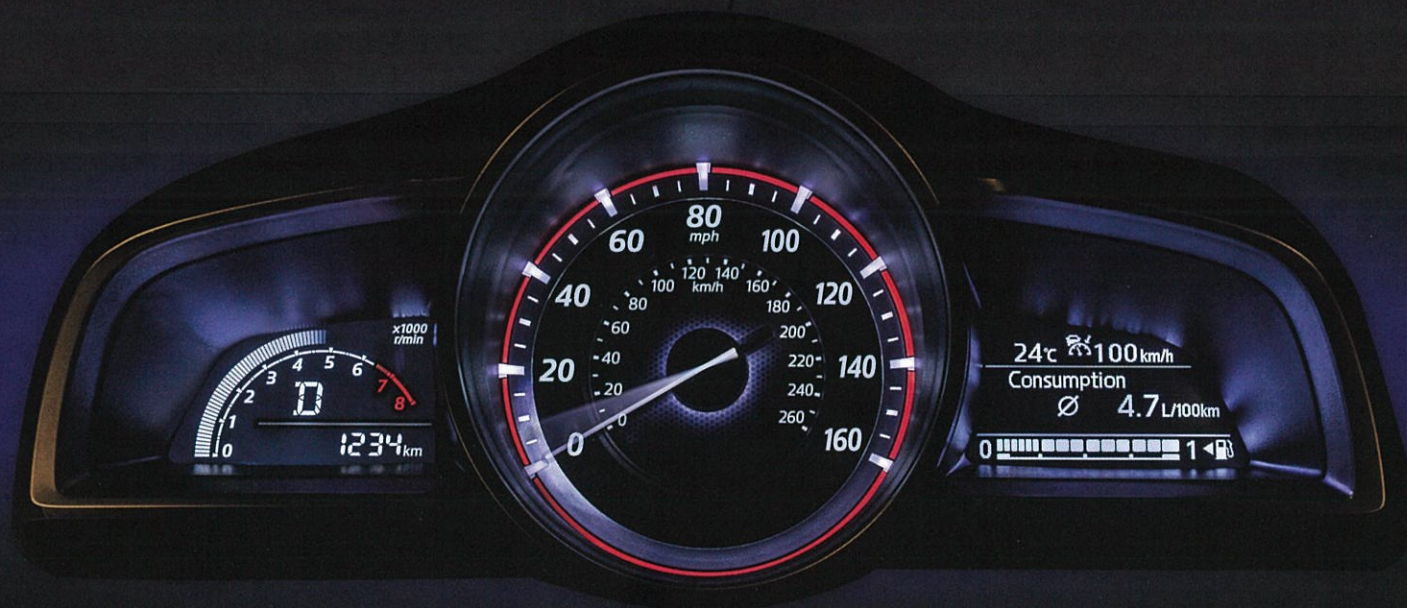
クルマの多機能化に伴う情報量の増大に対し、アナログ式とデジタル式メーターを組み合わせてヒトとクルマのUI (User Interface) を担う製品です。

PRODUCT

車載用ヘッドアップディスプレイ



前方視界に虚像(車速やナビゲーション表示など)を遠方表示させることにより、運転中の視線移動を最小限にすることで、安全運転をサポートする製品です。



ドライバーの安心・安全を確保。 素早く情報を認知し、

車載用ヘッドアップディスプレイ

車載用ヘッドアップディスプレイとは、前方視界に虚像を遠方表示させることにより運転中の視線移動を最小限にすることで、より早く情報を認知できるシステムです。

原理

表示器の映像を運転席前のコンバイナもしくはフロントウィンドウに反射させて虚像として映し出します。

技術

TECHNOLOGY 01

自動調光技術

前方視界に表示されるため、昼間の明るい景色からトンネル内の暗い輝度まで様々な外部環境に応じた輝度調整が必要となります。

TECHNOLOGY 02

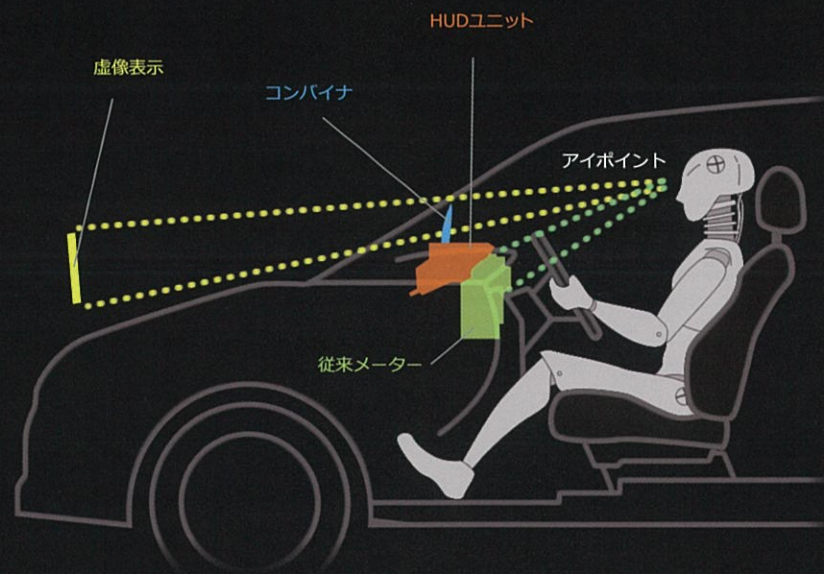
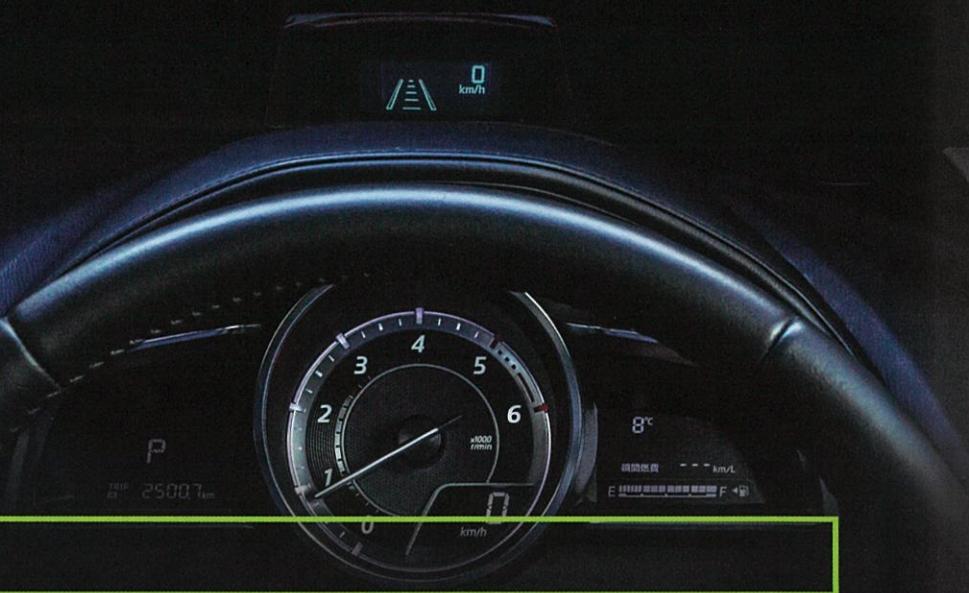
表示デザイン技術

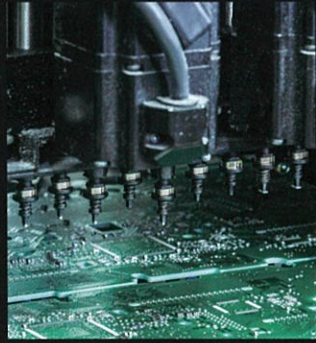
ドライバーに直感的に情報を理解してもらうためには、表示は判りやすい形、大きさ、色にするなど、人間工学に基づいたデザイン技術が必要です。

TECHNOLOGY 03

光学設計技術

光学ミラーには歪みのない表示像を映し出すために精密さが要求されます。そこで光学設計技術が必要となります。それらを日本精機の技術提供により実現しています。



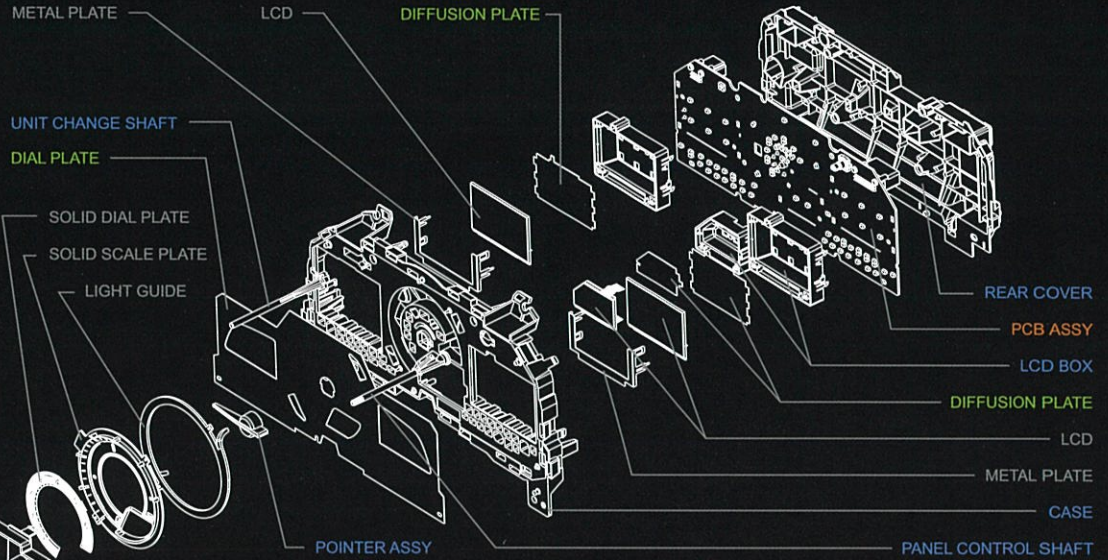


ELECTRONICS TECHNOLOGY

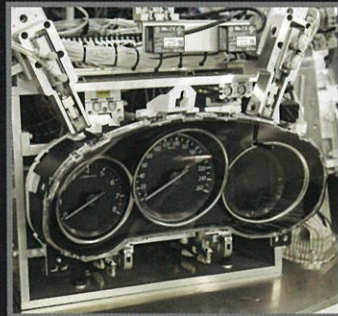
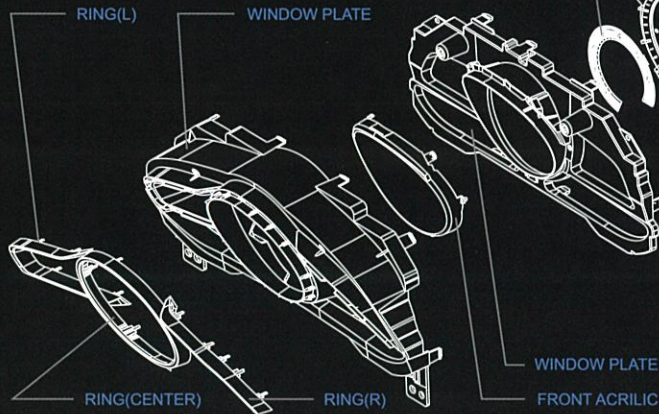
エレクトロニクス技術

車載用メーターは、マイクロプロセッサによって制御される電子部品の集合体で、インテリジェント化された製品です。

計器の機能はもちろん、平均燃焼などの車両状況や外気温などの車外情報を表示し、マンマシンインターフェイスとしての大きな役割も果たしています。



時代の先端を
行くと
優れた技術を
集約。

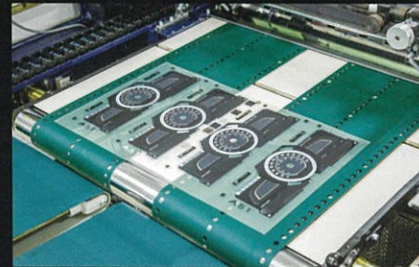


車載用メーターセット

エレクトロニクス、印刷、制御、そしてマンマシンインターフェイス等の多種多様な技術が結集して、初めて優れた車載用メーターが生まれます。

PRINTING TECHNOLOGY

印刷技術



スクリーン印刷による重ね刷り工法により、高精度、高精細な印刷を実現。画像処理技術を使用した高速プレス加工や近年では印刷品の自動検査装置を内製化し既存技術の向上を図ると共に、新技術開発に積極的に取り組んでいます。

MOLDING and PAINTING TECHNOLOGY

成形・塗装技術



現代のものづくりの根幹をなす重要な技術である射出成形。設計段階からコンカレント活動を行うことで、成形性を考慮した製品設計や、流動解析を用いた不良改善を行っています。また、最適な成形条件を設定するため、品質工学を用いた技術開発にも取り組んでいます。



ものづくり革新

| Q | D | C |

Quality

機能価値と感性価値の追求により、
業界トップの顧客満足度を実現

Cost

理論リードタイムと理論在庫の実現及び
最大内製化比率と、最小労務費の追求により、
業界トップの製造原価を実現

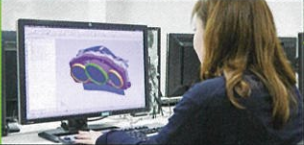
Delivery

顧客要求に応じた計画順序生産及び
計画的部品納入・計画的生産システムの導入により、
納期遵守率100%を実現

日本精機との技術交流

モジュールデザイン設計

外観・照明デザイン：
本体ケース、指針、文字板等の意匠
及び機構設計



電気・電子回路デザイン：
電子回路基板の設計



通信制御等のプログラムデザイン：制御プログラムの設計



信頼性評価・確認：
動作・照明・ノイズ・電磁波等の検証

PMT
(プログラム・モジュール・チーム)

製品コンセプト構築

モジュールシステム構想

ベンチマーキング



自動車メーカー

「ベストインクラス」の提案

共同開発体制

開発フロー DEVELOPMENT FLOW

信頼性

寸法精度・電磁波・振動・熱耐久性等



電波暗室



恒温槽

組立
フレキシブル・高度自動化組立ライン

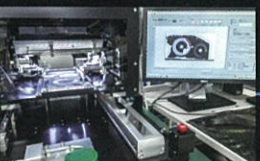


完成品

印刷
クリーンな環境下で
高精度・微細な印刷を
効率的に実現



自動印刷機



自動検査装置

成形・塗装
最新設備と熟練の技が
活かされる
確かなものづくり



射出成形機



2.5D画像測定機

基板実装
電子回路基板の
一貫生産体制



SMTライン



3D基板外観検査機

生産フロー PRODUCTION FLOW

常に「ベストインクラス」の
品質と先進性、スピードを。